

2 令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について

本年、4月19日に小学校6学年、中学校3学年を対象に国語および算数・数学、そして今年度は3年に一度実施される理科も加え、3教科の調査を実施しています。

教科に関する調査については、小学校では、国語は例年を上回り全国平均との差が縮まりました。算数は例年を下回りましたが、全国平均との差が若干縮まるという状況となっています。しかし、問題の難易度によっても平均正答率は上下しますが、全道・全国平均からみても依然として「低い」状況となっています。

理科は前回と「ほぼ同様」となっていますが、全道・全国平均と比べると「やや低い」状況となっています。

中学校では、国語は例年と「同様」、数学は例年より「低い」状況となっており、全道・全国平均と比べても国語は「同様」、数学は「低い」状況となっています。

理科は前回より「低い」状況となっていますが、全道・全国平均と「ほぼ同様」となっています。

また、児童生徒質問紙からは、北海道や全国の平均に比べ、小学校では「今住んでいる地域の行事

に参加している」、小中共通の傾向として「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」と回答した児童生徒の割合が高いことから、社会に開かれ、ふるさとを愛する児童生徒が多いことが伺われます。

更に、中学校では「PC・タブレットなどのICT機器を勉強のために使っている」と回答した生徒の割合が高くなっており、一人一台端末が日常の授業の中で有効的に活用されているものと考えられます。

一方、「家庭学習時間」が少なく「ゲーム機やスマートフォンを使用する時間」が多いなど、小中共通の課題も明らかになっていきます。

本調査は、児童生徒が身に付けるべき学力の一部分の傾向であることや、調査結果は、学校における教育活動の一側面であることから、これらの調査結果と他のさまざまな情報を合わせて、総合的に分析・評価することが必要であり、個々の設問や領域などに着目して、学習指導上の課題を把握・分析し、児童生徒一人一人の学習意欲の向上につなげることが重要となります。

各校においては、本年度の結果

を踏まえ、校長を中心として、教職員が詳細な結果分析を行い、共通認識を持った上で、今後の授業改善や、家庭学習の定着化に向けた取り組みを強化していくことにしています。

また、当町では各校の結果分析などを受けて、教職員で組織する学力向上推進委員会において、町としての分析と課題整理を行った上で、目標を定め町全体として共通の取り組みを行っていく予定です。

3 中体連全道大会および各種大会の出場結果について

新冠中学校では、本年度、陸上、柔道、剣道、卓球、男子バレーボールの5種目が、中体連全道大会への出場を果たしています。

各種目において健闘したものの、柔道個人戦および卓球個人戦の2回戦進出を最高成績として、全道大会を終えています。

全道大会へ出場した生徒たちは、緊張感溢れる会場において、技術力や精神力の面で多くのことを学ぶ貴重な経験となったものと思います。

また、吹奏楽部においては、8月の吹奏楽コンクール日胆地区予選大会で、金賞を受賞しています。残念ながら全道への出場権を得る

ことはできませんでしたが、安定した成績を維持しており、社会教育と連携した吹奏楽指導による成果であると感じています。

4 小学校統合に係る進捗状況について

本年度の計画に基づき、7月13日に、第2回小学校統合準備委員会会議を招集させていただき、保護者の皆さまからご心配をいただき、ありがとうございます。「通学バス」、「災害対応」、「交流学习」に関わる取り組みについて報告、協議し、その後、7月15日に、朝日小学校の保護者に対し、説明会を開催しましたので、概要を報告します。

まず、通学バスでは、統合計画の基本方針に基づき、現行の7路線を基本に、長距離路線の1経路を見直し、全ての路線において乗車時間を1時間以内とする、令和6年度からの路線図を示しました。

次に、災害対応では、新冠小学校と新冠中学校の大津波を想定した避難訓練の様子および、本年3月に町が作成した津波ハザードマップに基づき、避難先、避難方法について検討を進めること、また、交流学习では、全ての学年において複数回の交流学习を行うことを確認しました。

今後においては、新冠小学校保護者への説明会を計画しているところで、教育委員会では、保護者のご意見を踏まえた上で、町立小学校統合準備委員会において協議を深め、円滑な統合を推進していきます。

5 感染症対策に係る教育委員会の対応について

新型コロナウイルス感染症は、7月に入り日高管内においても急激に感染が拡大し、新冠中学校および認定こども園関係者に感染が判明したことから、感染状況の確認や感染拡大防止など感染症対策に万全を期すため、町感染症対策本部の方針として休業措置を決定したところです。

休業措置の状況は、新冠中学校について、7月11日に管内中体連会長から中体連大会で当町を会場とした種目に参加した関係者に、感染者や体調不良者が確認されているとの報告があり、7月12日に、同種目に参加した中学校関係者1名の感染および体調不良者が判明したことから、7月13日から18日までの6日間、対象学年を学年閉鎖措置としました。

認定こども園については、8月8日に園関係者2名が感染、翌9

日に4名の感染が判明したことから、8月10日から14日までの5日間、休園措置としました。

8月15日に園を再開しましたが、同日4名の感染が判明し、職員についても感染などにより自宅待機を余儀なくされ、園運営への影響もあつたことから8月16日から21日までの6日間、再度、休園措置としました。

休業期間中の感染者は、新冠中学校関係者3名、認定こども園関係者28名となっています。

加えて、子育て支援センターについては、町感染症対策本部において、認定こども園休園期間中の休館が必要と判断されましたので、休館措置としました。

6 8月15日・16日の大雨による学校の対応について

8月15日から16日にかけての大雨により、16日、17時の段階において、大雨警報および洪水警報が発令されており、道路状況についても、通行止めや片側通行が発生するなど、スクールバスの安全運行が困難となることが予想されました。

新冠小学校と朝日小学校は17日、新冠中学校については、18日から2学期が始まることから、教

育委員会では、スクールバス運行にかかる安全面や学校の教育活動への影響に鑑み、各校長と協議をした上で、朝日小学校を8月17日の1日間、臨時休業措置とすることを決定しました。

7 令和4年度新冠町少年国内研修交流事業について

コロナ禍以降、児童生徒の他県への派遣は困難であるとして、令和2年度、令和3年度と2年連続、本事業については中止の判断をしています。

本事業は、平成17年度から選抜制を導入し、研修目的を明確化するため、事前・事後の研修や児童生徒による成果発表形式の報告会を行っており、参加者本人の積極性と高い学習意欲が必要なりー

ダー研修と位置付けしています。学習要素の大きさに比例し、研修によって得られる経験や達成感、また異学年で協働する一体感、健全な人格形成に大きな影響を与えるところと捉えています。

このような本事業の重要性を踏まえ、今年度の事業実施に関しましては、年度当初より感染状況を注視しながら、教育委員や交流先の沖縄県金武町中川区子ども会など、関係機関と協議を図ってきました。



令和元年度
少年国内研修の様子

この2年間のコロナ禍において、直近のまん延防止等重点措置が終了して以降は、社会経済活動は維持していく方針に転換している一方で、現状リスクもあります。が、自ら学ぶ意欲がある児童生徒、また、それを理解する保護者に対しては、研修機会をできる限り提供していきたいことから、今年度の事業の実施については、当初の計画通り沖縄県へ派遣する判断をしました。

事業の実施にあたり、新型コロナウィルスは未だ予断を許さない状況であることから、起こりうる事態を想定しておくこと、参加される児童生徒の保護者へは丁寧な説明し、安全で意義深い研修となるよう取り進めていきます。